

# ひろがるまちのひろば

「中原おうちごはん」がフェイスブック上で盛り上がっています。こちらは「地元の飲食店さんとお客さんをマッチング」することを目的とし、参加者が地元の飲食店を紹介するコミュニティです。元々はコロナ禍で外出自粛が続いていた頃にテイクアウトができるお店の情報をみんなで投稿し、まとめるコミュニティとして立ち上がりました。今回は、当コミュニティを立ち上げた土倉康平さんにお話を伺いました。

## ●コミュニティを立ち上げたきっかけは？

コロナ禍で苦しい状況にある地元の飲食店を応援するために行動しようと思い、コミュニティを立ち上げました。やってみてダメでも失うものもないので、すぐに行動に移しました。

武蔵小杉周辺の情報を投稿し合う「ふらっと武蔵小杉」というコミュニティで告知をさせていただいたこともあり、立ち上げてから2日で200人を超えました。現在は、1,800人以上が参加しています。

## ●コミュニティを運営してよかったことは？

実際にお店の人から感謝の声を聞けてうれしかったです。また、PTAの活動の際に保護者の方から「テイクアウトを通じて新しいお店と出会えたので、自粛期間を楽しめました」と声を掛けてもらったこともうれしかったです。

ボランティアでやっていますが、普段なら出会わないような人たちとつながれたり、仕事につながるお話がきたり、コミュニティから多くのものを得ています。

## ●運営に当たり、気を付けていることは？

みんなのためのコミュニティなので、他の人たちの不利益になるようなことを防ぐ最低限のルールを設け、コントロールしているぐらいで、あまり細かいルールは作らないようにしています。

## ●コミュニティを運営していて感じることは？

コミュニティは好きなことが同じ価値観が合う人たちが集まってくるので、非常に居心地がよく楽しいです。オンラインで価値観の合う人がつながり、オフラインで会うという流れができています。このような状況下で難しいですが、今後は「中原おうちごはん」のメンバー同士のオフラインでのつながりも作っていければと思います。



中原おうち  
ごはん

